

眠りから覚めた郷土教育資料と、 被災した岩手のことばの現在

岩手県には明治以降の方言調査資料が豊富に残されている。
その中でも昭和初期の「郷土教育運動」の高まりの中で作成された「郷土教育資料」は、
県内全域に及ぶ大規模な調査報告で、貴重な資料である。

内陸

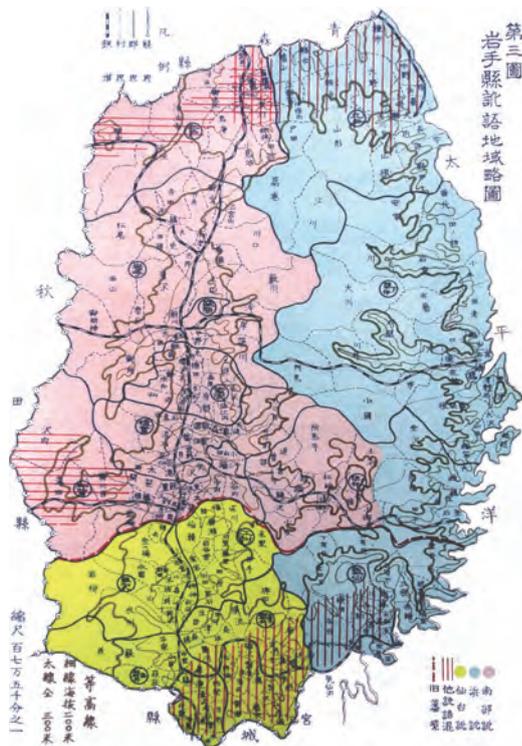
二戸郡
福岡
金田一
小鳥谷
御返地
荒屋

岩手郡
上長山
寺田
松野
柳沢
御明神上野
厨川
大萱生

紫波郡
長岡
外川目

胆沢郡
前沢
水沢
愛宕
永岡
六原

東磐郡
薄衣
千厩
折壁
舞川
ほか



九戸郡

平内「御部落戸口家畜調査／並学区方言集」
侍浜「昭和十一年夏期休暇調査／方言訛語の研究」

下閉伊郡

浜岩泉「学区ニ於ケル方言、訛語ニ就テ」
岩泉「郷土言葉（第一集）」
田老「吾ガ村ニ於ケル方言・訛語ニツイテ」
宮古町愛宕「研究／方言の国語教育に於ける地位」
宮古「我が郷土辯の特長と進歩」「兩閉伊方言の比較」
山田「山田湾内方言集」

上閉伊郡

鶴住居箱崎「方言調査」
釜石「答申案」「釜石方言の語学的考察」
平田「学区内方言集」

気仙郡

気仙郡「郷土調査／気仙郡方言集之部」
小白濱「唐丹村ニ於ケル方言訛語ノ調査」
越喜来「本村ニ於ケル方言調べ」
綾里「言葉の授業の一方（方法の一端）」
蛸浦「郷土に於ける方言訛語」「地方言葉の持つ匂ひ」
盛「盛地方に於ける方言集」
高田「高田町方言の調査研究」

(郡／地域／資料題目)

プログラム

- 郷土教育運動の歴史的な性格 大野真男 (岩手大学 教育学部・教授)
- 昭和 11 年資料の方言調査 竹田晃子 (国立国語研究所 時空間変異研究系・特任助教)
- 昭和 15 年資料について 小島聡子 (岩手大学 人文社会科学部・准教授)
- <休憩 / 10 分>
- 岩手の方言研究をふりかえる 本堂 寛氏 (元 岩手大学 教育学部・教授)
- 震災と津波を乗り越えて 坂口 忠氏 (元 宮古市教育委員会・教育委員長)

日時：2014 (平成 26) 年 3 月 1 日 (土) 14:00 ~ 16:00 (開場 13:00)

場所：岩手県立図書館 4 階ミニシアター (事前申込不要、入場無料、定員 50 名)

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通一丁目 7 番 1 号いわて県民情報交流センター内 電話 019-606-1730

《交通案内》<http://www.library.pref.iwate.jp/guide/use/access.html>

最寄り駅：JR/IGR 盛岡駅から徒歩 4 分 (東西自由通路経由 (さんさこみち) または地下自由通路経由)

バス停留所：アイーナ前、盛岡駅西口、盛岡駅前 (東口)

自家用車等：東北自動車道盛岡 IC から車で 8 分

駐車場：アイーナ向かいの市営駐車場 (有料) をご利用ください。駐車料金の割引はございません。

関連展示：『郷土教育資料』に描かれた岩手のことば—沿岸被災地を中心に— 2013 年 12 月 28 日 ~ 2014 年 3 月 24 日